

## 第21回文の京景観賞 1次選考 講評(都市景観部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
5	3	智恵子が見た空	千駄木3-10付近	<p>このあたり一帯の住宅は、敷地の広さと建物の骨格はある程度往事のまま受け継がれてきているように思う。今と変わらずきれいに区画された敷地そして、そこに建ち並ぶ風格ある住宅の街並みが自然に甦ってくる。そんな歴史観を抱かせる景観は、古い蔵を有するお屋敷、数寄屋風の家など、味わいある住宅が続く街並みでもある。これからも末永く維持されることを願いたくなる気持ちになる。</p> <p>電線のないゆったりとした道路が続いて広い空を背景にした住宅街の緑が映える。智恵子と光太郎が生活していた空気感もどことなく感じられる。</p> <p>電線が地中化された街路に対し、街路に面する敷地から樹木が枝を伸ばし、美しい街並み景観をつくり出している。</p> <p>電柱、電線がないだけで街並みを美しく見せることができる良い例である。「須藤公園」からの散歩客も多く邸宅のある街並みを楽しんでいるように見えた。</p> <p>現地調査の日も晴天であったため、車を降りて見渡すと、とにかく青空が広く爽やかな気分になりました。この道は通称「保健所通り」と言われている生活道路で、軽く曲がった道路はゾーン30にも指定されていたと思います。近くには安田邸、須藤公園や大平首相が住んでいた大給坂、ファール昆虫館など歴史や文化性もあり、結構人通りが多いのには驚かされました。</p> <p>保健所通りは電線が地中化されており、建物も通り一帯でよく調和されている。ただ残念なのは通りにベンチなどの一休みする箇所がなく、(ファール昆虫館の前には椅子があるが)少し減点した。</p>	96	1

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
31	2	季節と自然の魅力にあふれる緑のまちかど	小石川1-4-12	<p>前面道路とビルの間が様々な植物で緑化され周辺の街並みに潤いを与えている。</p> <p>ビルのオシャレな外観と、街路樹、植込みの緑が、落ち着いた新しい街並みを作り出していて、殺伐としたむき出しのビルとは違って、良い雰囲気が漂っています。</p> <p>建造物は近年のトレンドに見える”和モダン”の様式でウッドとスチールの組み合わせが美しい。角地で植栽帯を効果的に配置してあり奥に続く広大な再開発地区への入口として連続性を感じさせる。夜間のライトアップも美しい。</p> <p>接道部分に連続した植栽帯を設け、建物店舗側にはアプローチ用の歩道を配置して、街並みに奥行きと趣を持たせている。公道の街路樹は途切れているが、近隣の大型再開発の植栽帯へ「繋ぎ役」として緑の連続性に寄与している。又、当該地は小さな交差点のような角地にあるが、この建物がセットバックしていることによって、信号待ちの「人溜り」に空間的余裕を作り出している。細やかな樹種への気遣い等、緻密な設計と施工も優れていることが感じ取れる。</p> <p>緑に配慮しているが区域が限定的。周囲との連続性に欠ける。 植栽、木質のベランダなど、都市景観として自然環境を意識した方向性を感じる。</p> <p>緑豊かな街角で、一歩中に入ると周囲の建物とよく調和された樹木があり、東屋にベンチもおかれ、さらに高層住宅の裏は水が流れ樹木と人工物が一体となって都市美を形成している。</p>	95	2

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
7	8	山門の奥に林立する音羽通りのビル群と講談社	大塚5-40-1	<p>護国寺から見る音羽通りはそれ自体が調和された通りで、護国寺の古い山門との対比が面白い。</p> <p>大本山の由緒あるお寺である護国寺は、敷地内に点在する御霊の尊厳さと共に、樹木の緑と空間的静けさは都内でも有数の地であると思う。古い歴史を刻んだ「不老門」と、現代に息づいているビル群との視覚的対比も納得いくものであった。「静けさ」と「雑踏」という音の世界へまで導いてくれたそんな一瞬がそこにはありました。押し流されそうな日々の生活の中で、自分を取り戻せるような時間と場所を持ちたいものだと思わせてくれた景観でもありました。</p> <p>境内の豊かな植物とその向こう側に見えるビル群の対比が美しい。伝統的な景色の中に都市景観が自然に映える。人々に懐かしさと新しさの双方を感じさせる。生活者の観点から選ばれたと思われる好ましい景観である。</p> <p>「重要文化財指定」という他に、山門より見おろす音羽通りのビルや講談社のモダン建築とのコントラストが面白い。高台の立地が素晴らしい。階段脇の見事な松の木の手入れ、庵脇の木の花など護国寺総本山はさすが。</p> <p>護国寺という名刹からの良い眺めではありましたが、背景のビル群は面白いと言うより、むしろ景観が損なわれているように感じてしまいました。</p> <p>境内の階段のある範囲の箇所から見えるこの景観は、樹木群により通りの左側の建築群が隠れる。また、景観の近景に寺の門が見えるなど、絶妙のバランスをもって構成された景観を楽しむことができる。</p>	92	3

受付 番号	プレ 選考 順位	名称	所在地	講評	計 (120点 満点)	順位
10	5	「白山通りのいえ」	白山4-35-9	<p>街には整然とした佇まいでマンションやオフィスビルが並んでいる。ある種皆同じような顔をして都会と向き合って、揃ってよそいきな無表情な姿にも思える。その中であって、この家は「この地にしっかり足を据えて生きている」と言いたげに表情豊かに建っている。敷地内で採取した土を外壁に使い、地熱・太陽光を併用した空調・温水のシステム、そして中水(雨水)の活用など環境への取り組みが何より目を引く。都市住宅として「都会にこだわり、都会と向き合った」その力強さをこの住宅から感じた。</p> <p>文京区の建築らしい素材感と色彩でまとめられた小建築。建築は繊細なディテールに満ちており、街路の緑を相まって、まちに良好な景観を提供している。</p> <p>建築家の設計した住居兼仕事場だけ狭小な土地に7階建てで1FはEVホールとして外からでも工夫が見られる。ただし、建物自体が老朽化(?)してみえる為、「外壁土」や「環境自立自生型建築」が見えづらくなっているのがやや残念である。</p> <p>広い通りに面し気が付きにくいのが、1-2階のデザインも優れ、趣のある景観をしている。ただ、雑多に物品が置かれ、綺麗に使っていないとの印象があり、減点した。</p> <p>特別な素材で塗装した外壁の質感が通りにマッチしている。狭い敷地の建物であるが植物を的確に配し、周囲に潤いを与えている。</p> <p>坂の崖下という立地での、コンクリート打ちっばなしの家は、四角四面のマンションとは異なるものの、雑然としていて景観という観点からは余り感心が持てませんでした。</p>	86	4

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
3	8	後樂園 地下鉄留置線と文京区役所	春日1-2付近	<p>通りから見ると高い街路樹の背後に普段はあまり気がつかない区役所の高層ビルが聳え、其の対比として新しい都市美を形成している。</p> <p>並木の緑と遠方のビル群を対比させて面白い景観である。やや緑が少なく車道が広いので落ち着いた雰囲気は少ない。</p> <p>地下鉄留置場と基壇と崖線、そして、シビックセンター、大学他のビル群が舞台の書割のようなバランス良い構図の中に眺望できるスポットを発見したことに感心した。</p> <p>応募の写真が上手。よく機能している都市景観の一部をとらえていて秀逸ですが、実際、現地での状況説明は、建築予定中の大学ビルにより応募時の景観とは異なりそうで判断が難しいところ。</p> <p>文京区の景観特性である、起伏に富んだ石垣のある地形に、超モダンなシビックセンター、地下を走るはずのメトロ丸の内線、区民の足のビーグルと盛りだくさんの被写体をまとめて見せてくれたシャッターチャンスには思わず脱帽させられました。</p> <p>留置線に車両が入線しているところに出会っていない為、赤い車両と文京区役所などのビル群とのコントラストを実際に見ることができていない。しかし、改めて道路反対側の歩道に立ち、走り去る車両の屋根を確認しながら、その景観を頭の中に描くことはできる。この景観は文京区役所をはじめ視界に入る中央大学の校舎など、私にとっては普段見慣れない背面のエレベーションであることに気づいた。目線の中段まで入る石垣とも相まって、壁面の多い形の中に赤い地下鉄の車両がきれいに浮きだっただのと思う。</p>	84	5

第21回文の京景観賞 1次選考 講評(景観づくり活動部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
2	2	四季の彩りの花壇づくり	春日1-15	<p>この公園は毎日のように通る路だ。いつも綺麗に花咲く花壇のそばを歩く。チームワークがよく、楽しそうに活動している様子がうかがえる。</p> <p>花壇づくりにかなりの人が努力している様子がうかがえる。景観づくりを目指しているチームの運動内容を詳しく知りたい。</p> <p>道路脇は美しくしておくど”ゴミのポイ捨ては減る”は確かだと思います。これは運動として文京区全体に広がると良いですね。子供の参加もとても良いです。</p> <p>花々を植え維持されていることで、周辺街路やビルから良い景観が楽しめます。</p> <p>自宅周辺ではなく、広い意味での公共の場を美しい花々で四季を通じて飾ることは行き交う人々を非常に和ませる。説明にはなかったが、多分周辺の区民が参加しているのであろうが、さらに多くの参加者を募る活動も必要ではないかと思う。</p> <p>9/22(木)に個別に現地調査をしたところ、綺麗に植栽されており、日頃の手入れが継続されているように思いました。こういう区民のボランティア活動が景観づくりには大切であり、景観づくりの普及に貢献していると思います。</p>	102	1
1	3	湯島花いっぱいの会	湯島4-6-11~12	<p>花いっぱい運動で建物と玄関周りを緑豊かにしていることは大いに評価される。通りを行き交う人々を和やかにするのも広い意味での都市美の形成に寄与しているといえよう。ただ、自宅周辺を美しくするのはごく当たり前のことで、少し減点した。</p> <p>歩道の植え込みを花で楽しくしようとする意向はよく理解できる。ゴミのポイ捨て効果もありそうだが、景観に影響を与えるほどの範囲であるのか、疑問が残る。</p> <p>有志の方々の努力で、花壇が保たれていることを知りました。満点です。</p> <p>街をきれいに清潔に保つことは一人ひとりが身近なところから始めることが大切であることを教えてくれている。</p> <p>9/22(木)に個別に現地調査をしたところ、綺麗に植栽されており、日頃の手入れが継続されているように思いました。更に、子供の字?でマンジュシャゲ、アザレアなどと名札が付けてあり、とても微笑ましく、将来的にも景観づくりが引き継がれるものと感心しました。また、東京都都市緑化基金の助成を受けており、(財)東京都公園協会と連携しているようです。</p> <p>ボランティア活動により花々が植えられ維持されていることに感心しました。</p>	97	2

第21回文の京景観賞 1次選考 講評(こども景観写真部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (120点満点)	順位
9	1	入口出口の門	本郷7-3-1	<p>下からの構図がとても良く、白と黒の対比も上手に撮れています。</p> <p>鉄製の雰囲気がある門構えを演出している。</p> <p>建物を向こうにみた門の構図が斬新。見慣れた東大正門の景観が子供の目で新鮮に見える。東大の門に対して、大人の常識的ではない新鮮なアングルを評価する。</p> <p>鉄扉の彫の深さと重厚さが透けた建物と相まって感じとれる。</p> <p>着眼点がよいということで。</p> <p>子供の観点から建物(大学)の正門を撮影したもので、都市美を形成している要素を活写しているといえよう。</p>	95	1
6	1	セミが鳴く坂	関口2-11と目白台1-1の間	<p>写真からは必ずしもその場所の美しさが直接的には伝わってこなかったため、減点した。</p> <p>日のあたる緑豊かな坂道をとらえた。応募説明にあるように歩きながら楽しく撮っている雰囲気が良い。</p> <p>坂の階段は文京区らしいのと緑と影のコントラストも美しい。</p> <p>文京区の景観特性である坂道が、遠近感を感じさせ上手に撮れています。</p> <p>タイトルと日差しの強さが感じられる坂道の写真がマッチしている。</p> <p>坂道に落ちる夏の光と影が、美しく表現されている。</p>	92	2
10	4	東大の緑の大きな木	本郷7-3-1	<p>樹木の下から見上げた構図による写真は、大きな存在感ある樹木であることを感じさせてくれる。</p> <p>見上げた大きな木が感動的だったんですね。</p> <p>木々の葉を透けて届いてくる光が美しく、木の枝の構図に工夫の跡が見える。</p> <p>キャンパスの木々を画面いっぱいに撮った写真。緑に対して美しいと感じた気持ちがよくでてきている。</p> <p>大木を子供の視線で下から見上げる緑を映している。しかし、場所として東大を特定できず、景観の写真とするのには無理があると考え、減点した。</p> <p>見上げた構図は面白いですが、東大と言われても、どこだか分かりません。</p>	77	3

受付 番号	プレ 選考 順位	名称	所在地	講評	計 (120点 満点)	順位
1	5	青空の道	本駒込6-16-3	<p>六義園の緑を青空と対比してストレートに撮った。一般的な構図だが作者の景観に対する気持ちがよく現れている。</p> <p>六義園の美しい緑と素晴らしい青空を対比した写真で、撮影技術には言及できないが、見事な作品といえよう。</p> <p>庭園の背後にあるビル群が見えない構図に惹かれました。</p> <p>そのまま”綺麗”と思って素直に撮った写真で開放感が表現されていると思う。</p> <p>青と緑のコントラストが美しく表現されている。</p> <p>青空と木々の緑は良く撮れていますが、六義園と言われないと、どこだか分かりません。</p>	75	4